



下請への指導を申し入れる合材委員会委員長・三與木剛さん（6月18日大成ロテック本社）



必ず単価を引き上げようと思意統一する広伸建設分会の仲間たち（5月28日）

# 2014 春闘統一行動 全国ダンプ合材委員会

単価引き上げ

## 道路会社は利益還元し 燃料高騰分を負担しろ

全国ダンプ部会・合材委員会は、6月18日、二〇一四春闘を推進させる統一行動として、「鹿島道路、NIPPPO、前田道路、大成ロテック」など大手道路会社の本社とNIPPPO・2支店にたいして代表者10名で要請行動を展開しました。

昨年から建設市場の好況が続く中で各社とも大幅に利益を増やしています。さらにダンプの需要が高まると共に輸送コストも引き上げられ、合材価格も上昇しています。ところが多くの職場でダンプの

単価は上がっていません。また燃料価格も高騰を続けており、ダンプだけがコストを負担する現状が続いています。合材委員会では、二〇一四春闘で「最低一五〇円/トン」を掲げた要求書の提出に取り組んでいます。今回の行動は下請会社まかせにせず、ダンプ労働者が自ら道路会社に訴え、本気で改善に取り組んでもらうことを目的におこなわれました。各社とも引き上げについては検討していることを明らかにしました。鹿島道路では、「合材価格

は五〇〇円引上げたがコストも四五〇円上がっている。下請も4月から上がっている」と担当者が話し、組合の要請を真摯に受け止めました。NIPPPOについては、本社以外に関東第一（新宿）・第二（品川）の各支店に訪れました。総括では、各社が組合の要求を否定せず、下請にもきちんと伝えると共に、繁忙期に「ダンプを確保する為」、燃料高騰分の負担についても業界として対応を検討し始めていることをお互いに確認し、要請行動を終えました。

自らの要求にこだわり  
単価を引き上げよう  
広島ダンプ

広島ダンプ支部では、呉市の「広伸建設」で専属として働く「広伸建設分会」の仲間たちが、単価引き上げ要求書を3月末に会社へ提出し、団体交渉を5月15日におこないました。分会では5月28日に全員が参加して、交渉の報告を詳しく聞き、今後のたたかいつて単価を引き上げよう」と意思統一しました。

15日の交渉での回答内容（到達点）は①単価引き上げは努力するが、今すぐ4万円は無理。常用単価は4月の分から引き上げる。②材料運搬の単価の記載については前向きに検討する。③団体交渉の時間は仕事の終了後にも良い。などを確認しました。

### 定期大会 使用促進・職場闘争 団結を固め奮闘しよう

埼玉南部

埼玉ダンプ南部支部は7月6日（日）、戸田市において「第14回埼玉南部定期大会」を開催、70名が参加しました。主催者あいさつで三與木剛執行委員長は「積み重ねてきた運動が、目に見える形で前進していることを実感できる1年間でした。組合に結集し、仲間の力で業界を変えていきましょう」と訴えました。集団健康診断をおこなっている病院の栄養管理士による特別講義を実施、「皆さんの結果を見ると、他の業種に比べて悪い結果となっています」と「タバコやお酒は体には悪影響です」の話に会場から落胆の声が上がりましたが、健

役員体制  
執行委員長 三與木 剛  
副委員長 8名  
書記長 矢具野 卓哉



過積載根絶に向け、セメント会社も入れて協議の場を要請（6月12日沖縄県庁）

### 過積載問題の解決へ 第2回関係者協議会

沖縄ダンプ

6月12日、ダンプの過積載問題の解決に向け、県庁で国と県・業界団体・沖縄ダンプも含め第2回目の関係者協議会が開かれました。沖縄ダンプから東江議長が発言し、「各生コン業者との単価交渉はトン40円〜80円の引き上げにしかかっていない。それ以上は生コン価格が上がっていないことを理由に拒否している。その結果、各生コン工場ではまだ定積積みになっていない。過積載問題を解決する為にもダンプの単価改善が求められている」と報告し、解決に向けて「生コン組合・琉球セメント・建設業協会・沖縄ダンプ・県を含めた協議の場を設定して欲しい」と要請しました。この提案に対し、県は「検討します」と回答しました。